

道具と並べ方

トイレ掃除全般

*この道具は「日本を美しくする会」推奨の道具です



- 1 ナイロンたわし 2 サンドメッシュ 3 歯ブラシ 4 ヘラ 5 スクレイパー 6 粗ヤスリ 7 棒ヤスリ (平、半円、丸棒) 8 ピンセット 9 ドライバー小 (プラス・マイナス)
- 10 ドライバー大 (プラス・マイナス) 11 水漉しフック 12 ごみバサミ 13 金籠 14 たわし 15 サンディングブロック 16 ハケ 17 プライヤ 18 ラジオペンチ
- 19 スチールブラシ 20 ワイヤブラシ 21 リングブラシ 22 筒ブラシ 23 ごみ袋 24 スポンジ 25 カネヨン 26 CRC 27 薬用殺菌泡石けん 28 プロテクトX1
- 29 ガラスダスターまたはアカスリ 30 タオル 31 脚立 32 ラバーカップ 33 バケツ (大・小) 34 チリ取り 35 ホース 36 ほうき

道具と並べ方

水漉し・釣鐘

*この道具は「日本を美しくする会」推奨の道具です



- 1 サンドメッシュ 2 マイナスドライバー (大) 3 棒ヤスリ各種 4 ハツリハンマー
- 5 ナイロンたわし 6 ラジオペンチ 7 スクレイパー 8 ヘラ 9 ワイヤブラシ 10 ゴムマット
- 11 スポンジ 12 カネヨン 13 CRC 14 プロテクトX1 15 薬用殺菌泡石けん 16 新聞紙

スポンジ
掃除する面積がより
広くなるようにして、無
駄の少ない手の動かし
方をしましょう。

サンドメッシュ
カンコな汚水等を落とす
ときに使用します。
必ず水で十分に濡らしてか
ら使用します。メッシュ、
金属類には使用できません。

カネヨン
使いすぎないように
注意しましょう。また、
容器の口元はいつもきれ
いな状態にしておきま
す。

プロテクトX1
感染症予防対策の一環
として徹底して使用してくだ
さい。分量は、キetchup
ワンプッシュ分です。

ラバーカップ
詰まっている髪の毛やゴミ
を押し込むのではなく、
引き上げるようにして使
います。(オビホレ(便回)
も同時に塞ぎます)

スクレイパー
主に尿石を取り除く際
に使用しますが、こびり付
いた汚れや付着物を
取るときにもしっかり使
います。

*道具名は
明記されていない呼び名が
全てではありません。

1 リーダーミーティング及び事前準備

世話人やリーダー、サブリーダー全員が目標や注意事項、確認事項を共有するためのミーティングをします。スムーズな運びはリーダーやサブリーダーたちの重要な役割です。参加者から、「参加してよかった」と笑顔が言ってもらえるよう、心の準備と実習をしましょう。



リーダー、サブリーダーに指名されたら、当日までの事前準備等をし、当日のリーダーミーティングの時間には余裕をもって集合しましょう。

事前確認項目

- ① 当日 掃除をするトイレの状況
 - ② 当日 使用するトイレの場所の設定と掃除
 - ③ タイムスケジュール(掃除時間)の確認
 - ④ 水漏し、釣鐘の掃除場所の確認
 - ⑤ 喫煙場所等の確認
 - ⑥ 掃除道具の確認
 - ⑦ 参加人数の把握
 - ⑧ 参加者の私物や学校の備品の置き場所の確認(学校の用具・備品、貼り紙等)
 - ⑨ 巡回者の確認
 - ⑩ お湯の準備
 - ⑪ 参加者の名札などの用意
 - ⑫ 昼食を用意する場合は食事の準備
 - ⑬ 緊急連絡先の確認
- * 全てを行う必要はありません。掃除を行う場所、状況で判断をするとよいでしょう。

当日使用する掃除道具をトイレの出入口脇に準備します。

* 主催者は道具の過不足がないように下見を行い、参加者全員が使用できるように道具は多めに準備をしておきましょう。

* できるだけ「日本を美しくする会」推奨の道具を揃えてください。

* 道具の並べ方は、道具の説明項目の画像を参考にしてください。



2 開会式

リーダー、サブリーダーは最前列に座るようにしましょう。

トイレ掃除に向けて準備運動や感染症の予防対策、リーダー・サブリーダーの紹介、注意事項の説明等を行います。

プロテクトX1(デマシールド)の効能や使い方をしっかりと説明しましょう。

場合によっては道具の説明なども全員に一斉に行うことで時間の無駄が省けます。また、全員が同じ説明を受けることで、認識のズレが解消できます。

掃除を行う学校の校長先生や学校関係者を来賓扱いしないようにしましょう。

3 移動・班毎ミーティング

班毎に実践場所に移動します。

・参加者へ指示を出して、学校の備品、掃き掃除、蛍光灯・換気扇の取り外しなどの作業をします。

・トイレ前で簡単な自己紹介(名前・参加回数など)を行います。自己紹介を参考に各部位担当を決めます。

・道具の説明は手短にします。また、開会式で説明が終わっている場合は「不足程度で構いません。」



決まった時間内での実践が重要です。実践を優先的に進めましょう。

4 実践

実践では、参加者が集中して掃除に取り組めるような環境づくりを心がけましょう。

・一生懸命に取り組む姿勢をほめて、その人の長所を引き出してあげることが大切です。

・指導する際は、全てを教えるのではなく、自らが気付く喜びを大切にして指導するとよいでしょう。

・時間を守ることも重要です。
適正な時間配分で進行してください。

・素手での掃除を強要しないように気を付けてください。
(プロテクト×1は必ず手に付けるようにしてください)

・履物は必ず着用し、素足は厳禁としてください。

・基本的な動作、やり方はしっかり指導説明をしましょう。



5 片付け

最終確認を行い、道具を片付けます。

- ① 床に水分が残っていないか。
- ② 備品が元あった場所に戻されているか。
- ③ トイレトペーパーの三角折りはできているか。

- ④ 窓(ドア)は閉めてあるか。
- ⑤ 電気は消してあるか。
- ⑥ 班の表示紙は外したか。

・班で協力して、道具をまとめ、種類ごとに所定の場所に運びましょう。
* 道具を片付ける場所やまとめ方は地域によって異なります。

6 手を洗い、消毒する

掃除終了後は石けんを洗い、最後に消毒をするように、指示してください。
うがいも忘れずに...



7 感想を聞く

掃除場所のトイレで感想を聞きましょう。時間がある場合には、ひと言ずつ感想を述べてもらうのがベスト。時間がない場合は、昼食の懇談時に聞いてみるとよいでしょう。

・リーダーからも今日の参加者へ労いの言葉をかけるのが大切です。

8 食事・懇談

閉会式を行った場所に戻ります。

各班毎に分かれて、ブルーシートの上で昼食をとります。

その間に閉会式で感想発表をする人を決めるとよいでしょう。

※ 地域によって、食事・懇談の有無は異なります。



9 閉会式

・閉会式ではリーダーは最後尾に、サブリーダーが最前列に座るようにしましょう。

- ※ 各班の感想発表者は右端(または左端)に一列に並んで座ってもらう。
- ※ 発表者は10人以内ようにしましょう。



閉会式は予定時間内であってもギリギリまで行う必要はありません。できるだけ早く終わらせるように心がけましょう。

- ※ 帰る参加者には「また会いましょう」等、ひと言付け加えるとよいですね。
- ※ 学校関係者(校長先生や先生方、父兄の方々)のご挨拶やご紹介もスケジュールの中に入れておくとよいでしょう。



トイレ掃除 手順

このポケットブックではトイレ掃除の手順と実践方法を解説しています。

実習前の予習や確認などにご活用ください。

さらに工夫できることや、気付いたところがあれば、次のトイレ掃除で実践してみよう。

感染症予防

トイレ掃除を実践する上で、感染症の対策を呼びかけています。遵守事項を参考にしてください。

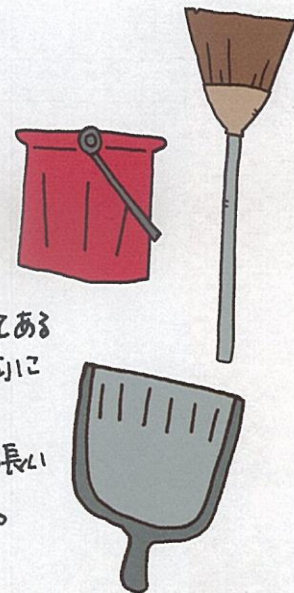
- ① 特に風邪、熱があり、体調不良を感じたとき、手洗いができるときはトイレ掃除を控えてください。
- ② 汚物は、直接手で触れることなく、枝付ブラシか手袋をして汚物を除去してから掃除しましょう。
- ③ 素手を強要せず、特に素足には下履きか長靴化を使用しましょう。
- ④ 薄手のゴム手袋、長靴化は必ず準備し、必要に応じて使用しましょう。
- ⑤ 掃除前には、プロテクトX1を指先まで念入りに塗り、必要に応じて作業途中でも塗ってください。
- ⑥ 終了後は、石けんでの手洗いと消毒を必ず行いましょう。



1 備品を運び出す

掃除場所のトイレットペーパーや汚物入れ、備え付けの掃除用具等の備品を一旦トイレの外に運び出します。

※その際、備品の個数や置いてある位置をしっかりと確認し、事前に置き場を決めておきましょう。また、デッキブラシのような木柄の長いものは横にして置きましょう。



2 蛍光灯・換気扇をはずす

蛍光灯(カバー共)、換気扇を外し、きれいにします。

蛍光管だけはトイレ内を明るくするために、拭いてもとに戻しましょう。



- トイレ入口に足拭きタオルを敷きます。
- トイレ掃除にとりかかる前に窓上などの高い場所からケリやホコリを取り除きます。



3 水漉し・釣鐘をはずす

水漉し、釣鐘を外したら、バケツに入れて決められた場所に運びます。(一箇所に集約して汚れを落とします)

* この作業では担当者が決まっている場合と、各班から担当者を決める場合とがあります。割れやすいので、水漉しフックを利用し、取り外しましょう。



4 大便器を洗う

5 小便器を洗う

6 洗面器の洗い方

7 水漉し・釣鐘の洗い方

大便器を洗う

- ① 洋式も和式も、溜水を臭に送り込んだり、スポンジで吸い取ったりして掃除がしやすい状態にします。
- ② スポンジに水を含ませ、ぐちゃぐちゃに全体の汚れを落とします。
- ③ サンドメッシュやナイロンたわしで汚れを落とします。
- ④ 栓の根元部分や隙間などの細かいところは、カネヨンを含ませた歯ブラシで磨きます。
- ⑤ 水洗レバーなどの金属部分は、濡れたタオル（ガラススターやアカスリ）とカネヨンを使って汚れを落とします。

※ このときカネヨンの使いすぎに注意しましょう。また、決してサンドメッシュは使わないように！



⑥ スポンジで便器全体を洗い流します。

- ・部分的な汚れは、狭い面積を集中してこするがコツ。小さな重カキは体への負担が軽いので疲れにくく、長時間集中して掃除ができます。
- ・時折、指で触って汚れが落ちているか確認したり、角度を変えて見るとよいでしょう。
- ・空いている手は周辺のものをしっかりつかむか、そえることです。
- ・スポンジでしっかり磨くとキズやカネヨンが落ち光沢が出ます。
- ※ カネヨンは適量ずつ使い、使いすぎないように注意しましょう。容器の口元はいつもきれいにしておきましょう。

洋式の場合

フタと便座を外して便器を磨きます。
(終わったら元通りに装着しましょう)

※ ひざをつけて作業ができるように、できるかぎり床を濡らさないようにしましょう。



小便器を洗う

① 溜まっている尿石等をリングブラシで先に洗い流します。

② 水漉しの周辺に固まり残っている尿石を落とします。

* 固まって落ちにくい場合は、ドライヤーやスクレイパー等でそぎ落とします。陶器ですので、傷をつけないよう注意しましょう。

③ 「大便器を洗う」の②～⑥を参考に、それぞれの箇所をきれいにしましょう。

* カネヨンを小便器の上部に少量出しておきます。そこから適量ずつ使用して、無駄な使いを避けましょう。



水漉し・釣鐘を洗う

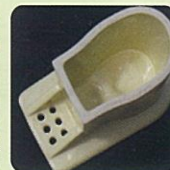
水漉しと釣鐘は落として割らないように、ゴムマットと新聞紙を敷いて作業しましょう。

〈水漉し〉

① スポンジ等で汚れを落とします。

② 固まった尿石などの汚れは、スクレイパーや、マイナスドライバーを使用して落とします。

* 傷つける恐れがあるので注意しましょう。



〈釣鐘〉

① こびりついた錆を金ブラシで取り除きます。

② しつこい錆は、スクレイパーで落とします。場合によっては、ハンマーでたたいて落とします。

③ ヤスリで磨き終わったら錆止めを吹きかけます。(この作業時は地面を汚さないように新聞紙を活用しましょう)

